



29飯教総発第315号
平成29年9月1日

飯能市議会議長 野田 直人 様

飯能市教育委員会
教育長 今井 直己

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書（平成28年度事業）
別紙

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成28年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	23
5 教育委員会の活動状況と評価	25
6 評価会での学識経験者の意見等	28
7 おわりに	29
※ 資料（各所属の評価結果）	30

平成29年8月18日

飯能市教育委員会

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成28年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、平成29年7月26日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

＜飯能市教育行政の重点施策の評価会＞

開催日：平成29年7月26日（水）

開催場所：飯能市役所 本庁舎別館 会議室2

出席学識経験者：駿河台大学

経済経営学部教授 高垣 行男 氏

経済経営学部教授 増田 珠子 氏

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成28年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定め
ました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成28年度の事業名と
結果を表記しました。

＜平成28年度飯能市教育行政の重点施策＞

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

基本方針

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| I | 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。 |
| II | 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。 |
| III | 学校・家庭・地域と連携した教育に取り組みます。 |
| IV | 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。 |
| V | スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。 |

I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 確かな学力の育成

①「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進

・K4の視点による研修システムを活用し授業改善を進めます。

※K4とは、授業改善の視点として「課題・活動・確認・価値(K4)」4つの「K」を明示したものである。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課			＜達成率90%＞	＜B評価＞
事業名	学力向上プロジェクト	学力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	<p>○学校指導訪問を11校（小学校7校、中学校4校）で実施した。授業では、全校でK4の視点を意識した授業が行なわれ、それに対し指導を行った。</p> <p>○学習状況の課題については、 【県学力学習状況調査】小4：国語、小5：国語・算数、中2：国語・英語 【全国学力学習調査】小6：国語・算数、中3：国語・数学が課題である。</p> <p>○教育センター主催「複式教育研修会」では「わたり」の授業をテーマに授業実践・研究協議を行ない、実践力の向上に繋がった。</p>	授業改善の取組ができ、概ね期待どおり。

②学習状況を把握し児童生徒一人一人を伸ばす教育の推進

・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

③学習習慣形成の推進

④小・中学校9年間を一貫した教育の推進

(2) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対する教育の推進

①伝統と文化を尊重する教育の推進

②グローバル化の進展に対する力を育む教育の推進

③外国語教育の推進

・外国語活動支援員を活用した小学校外国語活動を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	外国語活動支援員配置	小学校外国語活動・英語の授業の充実を目指し、外国語活動支援員を配置する。	<p>○学級担任とAETの間に入って授業を進める外国語活動支援員の役割について、三者が理解し効果的に進められるようになった。</p> <p>○担当指導主事による授業見学・指導は3回ずつ実施することができた。</p>	支援員を6名配置し、成果も見られ期待どおり。

(3) 社会の変化に対応する教育の推進

①教育の情報化の推進

- ・タブレットPCの整備・活用など、ICTを活用した授業づくりを進めるとともに、児童生徒の情報活用能力、情報モラルの育成を進めます。

②環境教育の推進

③キャリア教育の推進

④特別支援教育の推進

(4) 生きる力の基礎を育む幼稚園教育の充実

①少人数の良さを生かした教育の推進

- ・異年齢の交流を通して人とかかわる力の育成を進めます。

②恵まれた自然を生かした教育の推進

- ・園を取り巻く自然を活かした活動を進めます。

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

①道徳教育の推進

- ・道徳教育研究推進モデル校を中心とした研究を進めます。

②読書活動の推進

- ・K4-KIDの取り組みから、図書館等との連携を深め、読書好きな児童生徒の育成を進めます。

③人権教育の推進

④教育相談活動の充実

⑤いじめ・不登校対策の推進

- ・「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶にむけた取り組みを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課		不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。	<達成率90%>	<B評価>
事業名	不登校の減少に向けた取組の推進		○不登校児童生徒在籍率（2学期末現在） 小学校：14名・0.39%（0.05%減） 中学校：46名・2.46%（0.44%減） 【昨年】 小13名（0.36%） 中41名（2.22%） ○スーパーバイザーによる研修会を5回実施し、児童・生徒理解の方法や教育相談の役割や方法について研修を行い、学校における児童・生徒、保護者対応について研修を行った。	各小中学校と関係機関の連携が図られ概ね期待どおり。

⑥生徒指導の充実

- ・「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶にむけた取り組みを進めます。【再掲】

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課		いじめのない学校の実現を目指して、いじめ防止基本方針に基づいた取組を進める。	<達成率90%>	<B評価>
事業名	いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進		○いじめの認知件数（2学期末現在） 小学校20件・中学校11件 解消率：小学校90%（19件）、中学校100%（11件）	年度内で小学校1件が解消できなかったが概ね期待どおり。

(2) 体力の向上と健康の保持・増進

①体力向上の推進と学校体育の充実

- ・市の課題を明確にし、重点化した取り組みを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課		体力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	<達成率90%>	<B評価>
事業名	体力向上の推進		○新体力テストABC(5段階評価上位3ランク)の合計の割合 小学校81.3% (0.9%増) 中学校85.0% (2.9%増) ○市の課題としては、「上体起こし」「握力」に課題がある。	小学校、中学校ともに県の目標値を超えているが、課題となる種目もあり概ね期待どおり。

②食育の推進

- ・学校教育における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

③学校給食の充実

- ・安心・安全でおいしい給食の提供に努めます。また、給食調理業務においては、新たに南高麗給食共同調理場、及び名栗給食共同調理場の2施設について、民間委託化を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
教育総務課		7施設の給食調理等業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成29年度から南高麗及び名栗給食共同調理場を民間委託化するための準備を進める。	<達成率100%>	<A評価>
事業名	学校給食運営事業		・2月中に、委託している1施設の1年間の振り返りを実施し、次年度に向けて改善点等を確認した。 ・ランダムに市内の調理場において現場確認を行い、必要に応じて記録を残し、改善事項等について指導した。 ・平成29年度から新たに民間委託する施設について、雇用、引継ぎ等、契約までの流れを計画どおりに進めることができた。	計画どおりに進められたので期待どおり。

④学校保健の充実

3 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの推進

①学習林活用教育の推進

②小規模校・園の特色を生かした教育の推進

・恵まれた環境と少人数の良さを生かした一人一人を伸ばす教育を進めます。

③地域の特色を生かした教育の推進

・各地域の自然・歴史・施設・人材を生かした教育を進めます。

④学校・家庭・地域が連携した教育の推進

⑤小・中学校9年間を一貫した教育の推進

・小中の連携から一貫への取り組みを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課		9年間を一貫した児童生徒の育成を目指して、飯能市における小中一貫教育の取組を実施する。	<達成率100%>	<A評価>
事業名	小中一貫教育の推進		○全校で教育課程に位置付けた連携が実施された。	各校が実態や地域性に合わせ、小中連携を推進している期待どおり。

⑥校種間連携の推進

Ⅱ 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。

1 学習環境の整備・充実

(1) 学校施設の整備の推進

①安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	飯能第一小学校の屋内運動場及び東側渡り廊下棟の耐震補強工事を実施する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名 小学校耐震補強改修事業 小学校施設管理事業		・飯能第一小学校の屋内運動場及び東側渡り廊下の耐震補強工事について、それぞれ予定通りに完成した。	計画どおりに進められたので期待どおり。
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校施設の計画的な改修工事や修繕等を実施し、安心安全な学校運営を行える環境づくりに取り組む。 ・小中学校非構造部材対策工事 ・危険遊具等撤去新設工事	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業		・小中学校非構造部材の耐震対策については、双柳小学校体育館で落下防止対策がされている照明器具に取替え、また、美杉台中学校教室棟で落下のおそれがある外壁タイルの修繕を行った。 ・危険遊具等撤去新設工事については、点検の結果、危険と判定された原市場小学校の滑り台の更新を行った。	計画どおりに進められたので期待どおり。

②学校規模の適正化の推進

- ・「小規模校の今後の在り方に関する庁内検討委員会」により課題等を整理し、小規模校の今後の在り方について検討します。

(2) 学習環境の充実

① I C T 環境の整備

- ・多様な学習活動を展開するためタブレットパソコンの配置を進めます。

②学校図書館・教材の整備充実

- ・中学校の教科書改訂に対応した、教科書・教材整備を進めます。

(3) 就学援助の推進

①利用しやすい奨学金制度の推進

- ・奨学金の返還を促すための対策を講じ、昨年度より未納額を削減します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	奨学金返還金の返還率を 上昇させる。 返還が困難な奨学生に 対し、計画的な返還が 可能となるよう、柔軟 な対応を行う。	<達成率80%> 返還が滞る奨学生及び連帯保証人に対し、電話や文書による勧奨を行った。また、複数年度分を滞納している奨学生については、臨宅を実施した（実施日：9/12、11/20、12/4）。 平日に働く奨学生が返還に係る相談を気軽にできるよう、休日返還窓口を開設した（実施日：5/28、11/26）。 平成28年度末の未納額は16,466,464円、収納率は65.81%、平成27年度末の未納額は16,835,664円、収納率は65.17%であり、未納額は369,200円減少し、収納率は0.64ポイント増加した。 昨年度より臨宅回数を増やし、収納率を上げたものの目標の1%には届かなかった。	<C評価> 返還率を前年度対比で 1%上昇させる目標に対 し、0.64ポイントの増加 であったため、やや期待 を下回る。
事業名	奨学金貸付事業		

②高額な通学費への支援

- ・保護者負担を軽減するため、「飯能市高等学校等通学費補助金」制度を実施します。

2 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

- ①若手教員育成のための研修の推進
- ②職責やライフステージに応じた研修の推進
- ③教育課題解決のための研修の推進
 - ・教育相談、特別支援教育等教育課題に応じた研修を計画的に進めます。
- ④外部機関との連携による研修の推進
- ⑤飯能の特色を生かした教育のための研修の推進
 - ・郷土飯能を愛する児童・生徒育成のため、飯能を理解・体験・活用する研修を計画的に進めます。

Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組めます。

1 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

①家庭教育学級の充実

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	家庭の教育力の向上を支援するため、関係機関、地域団体等と連携し家庭教育学級等を開催する。	<達成率100%>	< A評価 >
事業名 家庭教育学級等の開催		<p>各校のPTA等と共催し、家庭教育学級を開催した。後半の内容は、土曜の学校公開日に合わせて開催したムーミンとフィンランドについての講演や、心と体を癒すタッピングタッチ等だった。</p> <p>青少年健全育成団体等と連携した講座では、「いじめの心理とその背後にある要因」、飯能警察署による「管内で発生した青少年に関する事件について」の講演等を実施した。</p> <p>飯能市俳句連盟主催の飯能市児童俳句展を飯能中央公民館ロビーで開催、短冊への書は利用グループにご協力をいただき実施した。</p>	予定していた事業を実施できたので期待どおり。

2 地域の教育力の育成

(1) 地域活動との連携

①各種団体や事業者との連携による職業体験、ボランティア体験などの機会の充実

②地域イベントへの子どもの積極的な参加

・駿河台大学、飯能商工会議所と連携して、子どもの好奇心や生きる力、郷土を愛する心を育てる「子ども大学はんのう」を開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	大学や商工会議所との連携により地域の教育力を活かし、子供の学ぶ力や生きる力、郷土を愛する心を育てるため、子ども大学はんのう（第3期）を開催する。	<達成率100%>	< A評価 >
事業名 子ども大学はんのう（第3期）の開催		<p>・第3期全日程を終了し、49人全員に修了証を交付した。</p> <p>・受講した子どもからのアンケートでは、「とても満足」との回答が71%だった。</p> <p>・保護者からのアンケートでは、「視野が広がり、いろいろな興味を持つようになった。」「小学校の勉強とは違う環境、内容、仲間でイキイキしていた。」などの意見をいただいた。</p> <p>・次年度からは県のサポートがなくなるが、飯能信用金庫が新たに実行委員に参画することになった。</p>	参加した子どもたち、保護者からも満足いただける内容で実施できたので期待どおり。

(2) 地域活動への支援

①社会教育機関による地域の教育活動支援

3 学校と家庭、地域社会との連携

(1) 学校・家庭・地域の連携

①家庭や地域への学校行事等の情報提供

・学校だより等を活用した地域への情報発信を進めます。

②学校評議員制度や学校応援団との連携による教育活動の推進

③学習習慣形成の推進【再掲】

④学校・家庭・地域が連携した教育の推進【再掲】

IV 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。

1 多様な生涯学習の推進

(1) 生涯学習機会の充実

①駿河台大学との連携

- ・市民の豊富な好奇心に応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

②多様な学習機会の充実

- ・小学生から高齢者までが参加する生涯学習フェスティバルを開催し、サークル活動及び学習活動の発表を通じて、サークル活動等への参加機会を提供します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	幼児から成人・高齢者までが来場し、一緒に楽しめる生涯学習フェスティバルを実施する。	<達成率100%>	<A評価>
事業名 生涯学習フェスティバルの実施	出演者は日頃の成果を発表するとともに、一緒に活動する仲間づくりを行い、来場者は自分が興味をもったものへの活動のきっかけづくりの場としていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの早期作成、フェンスへのポスター掲示、横断幕の設置、復興元気市会場でのチラシ配布、自治会へのチラシ回覧など周知に努めた。 ・高校生ボランティアが3校から26人参加し、当日の運営に協力いただいた。 ・参加者アンケートでは、参加して何か得るものがあったとの回答が88%であった。 ・活動グループの発表の場の提供とともに、来場者に創作体験させたり、一緒に踊らせたりすることで新たな生涯学習を知る・始めるきっかけを提供できた。 ・当日来場者は約900人であった。 	多くの方に来場いただき、満足度も目標値を達成できたので期待どおり。

③生涯学習情報の収集及び発信

- ・団体等が開催する催しにおいて、市の情報等を提供することにより、市民の生涯学習の一助とするとともに市民の積極的なまちづくりの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。

④人権に関する学習機会の充実

- ・様々な人権問題についての理解を深めるため、地域で人権意識の高揚と啓発を図るための研修会を開催するとともに、人権教育の成果をまとめた冊子を発行し、地区行政センター等に配置します。

(2) 青少年の健全育成

①関係団体との連携

- ・青少年育成飯能市民会議と連携して、青少年が広い視野に立って物事を考え、発表する力を養うための「少年の主張大会」や家庭での家族のふれあいをテーマにした「家庭の日ポスターコンクール」を開催します。

②世代間交流の推進

③ボランティアの育成と活動支援

- ・地域の子ども会行事活動に協力する青少年相談員協議会の活動を支援します。

2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存・活用

(1) 市民文化活動の推進

①市民文化活動の奨励

- ・市民の文芸創作活動を促し、市民文化の向上を図るため文藝飯能を刊行します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 文藝飯能の刊行	市民の文芸創作活動を促進するため、優れた作品や著書を紹介するとともに地域の文化や伝統を紹介していく。図書館、郷土館、公民館と連携し、情報交換や利用者への周知を行い、新規の投稿者を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・3月初旬に文藝飯能37号を刊行することができた。新規投稿者についても応募いただくことができた。 ・特集とグラビアで、フィンランドの紹介を図書館の協力により行えた。 ・図書館職員の推薦図書については紙面の関係で掲載できなかったが、今後掲載していく。 ・市内在住の童話作家の取材を通じて、市立図書館で活動する児童文学創作活動グループとの繋がりができたので、今後文藝飯能への投稿を促していきたい。 	図書館と連携した記事の掲載を行い、また、新規投稿者にも投稿いただけたので期待どおり。

②市民主体による活動の支援

- ・郷土芸能保存団体による継承活動の支援や郷土芸能講習会の開催を通じて、技術の向上や後継者の育成を図ります。
- ・伝統文化を通して若い世代が地域に対する愛着を育む事業を検討します。

(2) 歴史・文化遺産の継承と活用

①指定文化財の保存と活用

- ・文化財に親しむとともに保護意識を高めるため、文化財めぐりや文化財講座等の普及・啓発事業を実施します。
- ・指定文化財の所有者（管理者）に対して、保存事業費補助金を交付することにより、適正な管理と後世への継承を支援します。

②埋蔵文化財の調査と活用

- ・開発行為等により影響する埋蔵文化財の試掘・発掘調査を円滑に進めるため、事業者と調整を図ります。
- ・埋蔵文化財の発掘調査場所において、実施状況を記した案内板を設置し、普及・啓発活動を図ります。
- ・埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、出土品の展示や貸出し、出張講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受入れなど積極的に実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	埋蔵文化財調査の推進事業	年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。 室内調査については、報告書刊行までの計画を立て可能な限り前倒しで事業を進める。 民間や個人等の開発についても臨機応変に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業関連は今年度実施予定の発掘調査箇所は全て調査を実施することができた。一部調査期間が延びてしまったが、影響は最小限に抑えることができた。更に、例年試掘調査は当該年度に実施していたが、今回は次年度に調査が予定されている箇所を前倒しして試掘調査を実施でき、次年度の調査予定及び積算が確実に進める状況を作り出すことができた。 ・室内調査は、1月から人数を増やして実施し、計画よりも多くの仕事量を達成できた。また、報告書も12月中に入校し、早々に刊行できた。 ・民間やメッツアは、事業者の意向に沿ってほぼ計画通りに進めることができた。事業者との調整の中で、調査範囲を最小限にするなど、こちらの意向も汲んでもらうことができた。 	発掘調査、室内調査ともに今年度実施予定の調査はすべて実施できたので期待どおり。

③歴史・文化遺産の調査と活用

- ・地域に残された歴史・文化遺産について調査を実施するとともに、貴重なものについては保存・活用に向けた検討を行います。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	未指定の文化財に対する基礎調査の実施	文化財に指定されずにある地域の歴史・文化遺産の活用を図るため、その基礎となる調査を試行的に実施し、文化財保護意識の高揚及び今後の事業展開に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に行った断片的調査を整理し、把握済み所蔵文書資料の一覧を作成した。 ・所蔵者に対し今後の取組みについて説明すると共に、現地調査として聞き取り調査を実施した。 ・有形資料に関する現地調査については、引き続き次年度以降に実施する。 	計画どおりに基礎調査を実施し、次年度の調査へつなげる土台ができたので期待どおり。

3 学習活動支援と地域の魅力発信

(1) 図書館サービスの充実

①資料・情報提供の充実

- ・市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、郷土館等関係機関と連携し情報提供を行います。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	資料・情報提供の充実	知の情報拠点として各種資料の充実を図るとともに地域創生につながる資料・情報提供を行う。また、庁内組織と連携し市政情報の提供を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間に約9300点（雑誌・視聴覚資料を含む）を受入し、蔵書の充実を図った。 ・市立図書館にフィンランド大使館寄贈資料コーナー、こども図書館にムーミンの本コーナーを開設し、その世界に親んでもらうとともに情報提供を行った。 ・郷土館、市民会館等他課と連携した資料展示を13回行い図書館利用の促進と市政情報提供の増加を図った。また、駿河台大学メディアセンター所蔵貴重資料を展示した。 	蔵書の充実、情報提供、庁内組織との連携が図られたので期待どおり。

②課題解決支援サービスの充実

- ・課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。
- ・利用者が飯能に関する情報を容易に調べられるよう飯能に関する新聞記事を整理して公開します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	ICTを活用した調査活動の支援	市民の課題解決を支援するためICTを活用したサービスを展開する。また、飯能に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり支援と共催で行っている「いのちつなげる」展で紹介した本のリストが見られるカーリルタッチを保健センターと市立図書館に設置した。 また、オンラインデータベース講習会を1回実施し、ICTを活用したサービスを進めた。 ・文化新聞記事見出しデータを1651件追加入力し公開した。また、平成27年度の飯能市関連記事掲載状況リストを追加公開し、地域の情報の収集と活用に努めた。 	ICTを活用し関係機関と連携した事業を実施し、飯能関連新聞見出しデータを公開したので期待どおり。

③市民との協働による図書館運営の推進

- ・市民との協働による運営を推進するため図書館ボランティアの組織運営を支援します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	市民との協働による図書館運営	市民のニーズを把握し、利用者満足度の高い図書館を目指すため、利用者アンケートを実施する。また、図書館ボランティアや読書団体と連携し図書館事業を行い、市民との協働による図書館運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館では「飯能市立図書館友の会」と協働で映画会(12回)、おはなし会(24回)、図書館のつどい、本のリサイクルフェア等を実施した。飯能読書連盟と協働で著者を囲む会を実施した。 こども図書館ではボランティアと協働でおはなし会等の事業を234回実施するなど市民との協働による図書館事業を実施した。 ・市立図書館、こども図書館で利用アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。 	図書館ボランティアや読書団体との連携事業を展開し、利用者アンケートを実施したので期待どおり。

(2) 読書活動の推進

①生涯にわたる読書活動の推進

- ・図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館		<達成率105%>	<S評価>
事業名 学校等との連携	児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもってもらったため「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校等と連携して読書活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の図書館見学を10団体受入れた。学校等への出前講座を6回行った。また、ムーミンに関する子ども向け出前講座を4回行った。 ・調べ学習のための団体貸出を年間58回行った。 ・学校図書主任会と学校図書ボランティア研修会で講師を務め、図書館事業の周知を図った。 ・市内高校等の連携に県立飯能南高校を増やし、市立図書館における飯能高校、飯能南高校図書室との交換展示を年10回開催し、展示資料の貸出数は、1冊1回以上であった。 児童・生徒の読書活動を推進した。	各達成指標において、予定以上の結果となったので期待を上回る。

②学校等教育機関と連携した読書活動の推進

- ・「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校と連携し子どもが読書に親しむための取り組みを実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館		<達成率100%>	<A評価>
事業名 保育所等との連携	幼い頃から本と親しむ環境を作っているよう「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、保育所・公民館等と連携して読書活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を行う保育所を1箇所増やし、2箇所の保育所で年12回実施した。 ・保健センターでの乳児健診、1歳6箇月検診で絵本の紹介やこども図書館の利用案内を年24回実施した。 ・ムーミンとフィンランドに関する図書を各公民館に巡回するなど公民館と連携した事業を年3回実施した。 乳幼児とその家族が本と親しむ環境づくりを推進した。	保育所等と連携した事業を実施し、乳幼児とその家族が本と親しむ環境づくりを推進できたので期待どおり。

(3) 公民館活動の充実

①地域課題を捉えた事業の充実

- ・少子高齢化、人口減少に対し、健康づくりや人口増に繋がる事業を展開します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館		<達成率90%>	<B評価>
事業名 健康づくりや人口増に繋がる事業の展開	少子高齢化や人口減少に対応し、健康づくりや人口増に繋がる事業を実施する。	地区体育協会やまちづくり協議会等、各地区の団体と協力したり、公民館同士で共催するなどして、ウォーキングやハイキングを実施し、年間でのべ6,500人以上が参加した。地域野菜グルメ料理教室などを実施し、健康づくりを推進した。 トレーニングキャンプは、児童の応募が少ないため、開催を見送った館があった。 全館共催の結婚推進事業「飯能（ふるさと）再発見出逢いのススメ」は、2年続けて実施したが、成果を図ることが難しく課題が多かった。	トレーニングキャンプは、予定していた6館のうち5館で実施できたので概ね期待どおり。

- ・防犯、防災に関する事業を、地域団体や関係機関と連携して推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	安心して暮らせる地域を目指し、防犯・防災に関する事業を関係機関、関係団体等と連携して実施する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名 防犯・防災に関する事業の推進		各地区の自治会や自主防災会と共催し、防災に関する講座を開催して防災意識の高揚を図った。また、地域福祉団体や高齢者団体等と連携し、主に振り込め詐欺防止などの防犯講座を開催した。 各地で開催する防災訓練を、自主防災会や危機管理室、消防署、消防団と連携し支援した。	予定していた事業を実施できたので期待どおり。

②情報発信の充実

- ・生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供を充実します。また、地域活動や地域の魅力などを積極的に発信します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	地域の活性化に繋げるため、公民館事業や地域活動、地域の魅力などを積極的に発信する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名 情報発信の充実		地区行政センターだよりを月1回発行した。 ホームページを活用し、公民館事業の案内や実施結果を発信した。また自治会活動や各団体の活動、小中学校の行事などに積極的に外向き、写真等も掲載して地域情報の発信に努めた。インターネット環境のない方のために、玄関入口に事業の様子や地域の情報を掲出した。 講座の様子や地域の四季の景色などの写真をセンター内に掲出し、地域情報の「見える化」を推進した。 飯能市ホームページのリニューアルに併せ、各館でフェイスブックからの発信を開始した。 地域の行事や講座の様子について、報道機関への情報提供を行った。	予定どおり実施できたので期待どおり。

③学習活動の支援

- ・学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域活動や学習グループ間の連携による活動を支援します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体や学習グループ間の連携による活動を支援する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名 学習活動支援		市の出前講座や学習活動に関する情報を館内に掲出した。また、出前講座のチラシなどの案内をロビーに設置しPRをしている。 会員数が減少している公民館利用グループの支援として、そのグループを講師とした講座を開催し、メンバーの増加につなげる等、連携強化を図った。 地区文化祭や音楽祭を、関係団体と協力・連携して実施した。	予定どおり実施できたので期待どおり。

(4) 郷土館活動の充実

①地域の情報センター機能の充実

- ・古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
郷土館		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 収蔵資料の整理	地域の魅力や特性を究明することを目的とし、収蔵資料から地域の情報を引き出し、それを多くの人が利用できるようにするため、収蔵資料の整理を推進する。	下赤工村山川信一家文書、青木村新井忠治家文書など9つの史料群528点の整理を終了し、目標としていた300点を大きく上回った。 古写真は3月上旬までに175点のカードを作成した。古文書と同様、民具、古写真ともに目標値を超える点数の資料を台帳に登録することができた。	資料整理の点数が目標を達成できたので期待どおり。

②市民、小中学校、大学、他の教育機関等と連携した博物館活動の推進

③施設の充実と職員の専門性の向上

- ・常設展示を時代に合った内容に改装するための展示設計を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
郷土館		＜達成率90%＞	＜B評価＞
事業名 常設展示の改装	来訪者に天覧山・飯能河原周辺の自然を含めた魅力を伝えるとともに、街や山間地域の魅力を発信することを目的とし、常設展示を時代に合った内容に改装する。	2月までに設計業者と12回の打合せを行った。郷土館側の考え方を理解してもらい、要望を取り入れてもらえるよう資料作成、連絡調整に工夫、配慮した。また、専門的な展示知識も習得しながら、職員全員で協議した上で対応した。この結果、常設展示改装の設計を終了した。 設計途中の段階で、郷土館協議会に報告、確認をするとともに、庁内関係各課との調整は行ったが、関係する市民や団体の意向を聞くことはできなかった。	設計の途中で郷土館協議会など関係者の意見を聴きながら常設展示の改装の設計を終了したので概ね期待どおり。

(5) 地域の魅力発信

①地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援

- ・特別展「高麗郡建郡 1300 年記念（仮称）」を開催し、その充実を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
郷土館		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 特別展の充実	地域情報の積極的な発信の一つとして、高麗郡建郡1300年記念をテーマとした特別展を開催し、内容の充実を図り、高麗郡建郡の意義を伝える。	特別展の1日平均入館者数133.3人、満足度82%と、目標を上回った。 3回の関連講座とも参加者は40人以上で盛況だった。 高麗郡の建郡が飯能市にとって重要な歴史的一幕であることを多くの人に伝えることができた。	入館者数、満足度ともに目標に達したので期待どおり。

②「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設 Metsä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出

③天覧山・飯能河原周辺の魅力の発信

- ・天覧山・飯能河原周辺の魅力を発信するための自然に関する情報を収集しま

す。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		天覧山・飯能河原周辺の魅力を発信するために、自然に関する写真データを収集する。	<p align="center"><達成率100%></p> <p>引き続き写真の収集をすすめ、最終的には1496点収集できた。 前期での関係者や関係団体への呼びかけ、自然観察会などへの積極的な参加により、関係者との信頼関係を構築できたため、多くの写真を提供していただいたものと思われる。 これらの写真は検索システムに登録してすぐに利用できるように整備した。</p>	< A 評価 >
事業名	天覧山・飯能河原周辺の自然に関する情報の収集			写真データの収集点数が目標に達したので期待どおり。

V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

1 健康で元気に暮らすための事業の充実

(1) 地域と連携した活動の推進

①健康づくり事業の展開

- ・NPO法人飯能市体育協会における、コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
スポーツ課		<達成率90%>	<B評価>
事業名 コーディネーショントレーニングの推進	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から体験会（6月/46人、11月/20人）並びに学ぶ会（6月/21人、11月/14人）を年に2回開催。ブロンズライセンスセミナーを1回開催し27人が受講した。 ・保育所巡回教室については、9保育所で開催し、述べ504人が参加した。また、次年度からは、新たにコーディネーション道場を開催することになった。 	COTの普及については検討が必要であるが、概ね期待どおり。

②ウオーキングのまち飯能の推進

- ・市内9地区のウオーキング大会をNPO法人飯能市体育協会に委託し、『市民健康ウオーキング大会』として開催します。

(2) スポーツイベントの充実

①飯能新緑ツデーマーチ

- ・市役所職員や関係団体、ウオーキング事業と連携をしながら、参加者の更なる増員に向けた取り組みを積極的に行います。また、市民との協働により“おもてなしの心”“気遣いの心”で参加者をお迎えし、「飯能に来て良かった」と言われる大会を企画します。

第14回飯能新緑ツデーマーチ

大会期日：平成28年5月28日（土）・29日（日）

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
スポーツ課		<達成率100%>	<A評価>
事業名 第14回飯能新緑ツデーマーチ	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツデーマーチを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コース担当を中心としたコース下見を実施し、第15回大会のコースを決定した。 ・3月に統括部会、実行委員会を開催し、大会計画が決定した。 ・3月14日（火）から事前申込の募集を開始した。 ・新たな参加者の確保を目指した事業（ヤマノススメ、近隣自治体ご当地グルメ等）を第14回大会同様に開催することを決定した。 ・第15回大会は、名栗コースを見直し、魅力あるコース作りができた。 	計画どおりに進められたので期待どおり。

②奥むさし駅伝競走大会

- ・歴史と伝統ある奥むさし駅伝競走大会を関係団体と連携し、また、市民との協働により“おもてなしの心”で参加者をお迎えします。

第15回奥むさし駅伝競走大会

大会期日：平成29年1月29日（日）

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	<A評価>
事業名	第15回奥むさし駅伝競走大会	安全で競技性の高い『第15回奥むさし駅伝競走大会』を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・警察との協議により出場チームの上限230チームとし、出場可能枠を10チーム増やすことができた。247チームの応募があり、競技規程に基づき選考した。 ・前回大会の反省を踏まえ、各部会でスムーズな大会運営の検討を行い、実施した。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。 ・参加チーム受付方法を見直し、業務の改善が図れた。 	計画どおりに進められたので期待どおり。

- ・実業団・大学・女子チームの参加を増やすとともに、『大学の部』『女子の部』を検討し、競技性の高い魅力的な大会にします。
- ・第59回奥武蔵中学校駅伝競走大会を開催します。

大会期日：平成28年12月3日（土）

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	<A評価>
事業名	第59回奥武蔵中学校駅伝競走大会	安全で競技性の高い『第59回奥武蔵中学校駅伝競走大会』を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加チーム 男子の部 76（前回63）チーム 女子の部 59（前回53）チーム ・監督会議を開催し、注意点の確認、課題に対する協議を行い、大会当日はスムーズな大会運営ができた。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。 ・参加チームの受付方法を見直し、業務改善が図れた。 	計画どおりに進められたので期待どおり。

③新たなスポーツイベントの検討

- ・飯能市の豊かな自然、地形を活かした新たなスポーツイベントを検討していきます。

(3) スポーツ環境の整備・充実

①スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ・NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各競技団体と地区体育協会の他、スポーツ少年団、レクリエーション協会等の活動を支援します。
- ・全国大会出場などの選手及び団体へスポーツ奨励金を交付します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	<A評価>
事業名	各種関係団体との支援及び連携	飯能市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーションを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係団体の会議を計画通りに開催し、団体との連携強化に努めた。 ・NPO法人飯能市体育協会の理事会への出席 ・飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を12回開催 ・スポーツ少年団本部委員会を4回開催 	計画どおりに進められたので期待どおり。

・スポーツ施設の休館日（年末・年始除く）の廃止について、指定管理者と検討していきます。

②市民ニーズに即応したスポーツ教室等の開催

・市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツ大会等を事業委託して開催します。

市内競技団体によるスポーツ教室の開催

第65回市民体育祭（27競技団体）及び地区体育祭（9地区）

第35回市民レクリエーション祭（5団体）

③ホッケーのまち飯能の推進

・『ホッケーのまち飯能』推進計画に基づき、ホッケーのまちづくりを推進します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	<A評価>
事業名	ホッケーのまちづくりの推進	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回ホッケー教室 小学校：14校 中学校：8校 中学生放課後：1クラブ ・学校と調整を図り、全小中学校で巡回ホッケー教室を開催することができた。全小中学校での開催は、事業の開始以来、初である。 ・市HPを活用し、ホッケーのまち飯能をPRした。 	計画どおりに進められたので期待どおり。

・市内全中学校における保健体育科授業での必修化を継続します。

・ホッケーのまち飯能推進事業を飯能ホッケー連盟に委託し、中学生の強化を進めます。

・スポーツ少年団への支援事業を進めます。

・飯能ホッケー連盟に大会補助金を交付し、第25回関東中学生新人ホッケー大会を支援します。

・全国スポーツ少年団ホッケー交流大会に向け、実行委員会を立ち上げて準備を進め、開催します。

大会期日：平成28年8月4日（木）～8日（月）

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	< A評価 >
事業名	平成28年度全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	平成28年度全国スポーツ少年団ホッケー交流大会を開催するとともに、ホッケーのまち飯能を広く周知する機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の終了に伴い、飯能市実行委員会を解散し、大会が盛大かつ無事に終了した。 ・全国から選手が約450名が参加し、大会関係者等を含め、3日間で述べ約3,800人が飯能市を訪れ、盛大に開催された。 男子：27チーム 女子：21チーム 	計画どおりに進められたので期待どおり。

2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

(1) スポーツ施設の安全点検とサービスの向上

①指定管理者との連携

- ・都市公園運動施設のサービスの向上、円滑な管理運営を行うため、指定管理者と連絡調整を行います。
- ・指定管理者の職員の質を高く維持しつつ、接遇の面でも市民サービスを重視した意識を確保します。
- ・指定管理者の積極的な自主事業の実施に向けて協議を行います。

②施設の計画的な修繕

- ・スポーツ施設の安全な運営を確保するため、定期的な施設点検を行い、指定管理者や関係部署と協議し、修繕計画を作成します。
- ・修繕計画により、計画的な修繕を行います。
- ・阿須運動公園ホッケー場・美杉台公園多目的グラウンドの人工芝について、早期の張り替えに向けて関係課等と協議をしていきます。

③利用者のサービス向上

- ・指定管理者と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性の向上を図ります。
- ・学校開放事業について、利用時間の延長等の利便性の充実について検討します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
スポーツ課			<達成率100%>	< A評価 >
事業名	都市公園運動施設の指定管理	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と必要に応じて協議・検討を行った。 ・指定管理者と施設の安全確認（危険箇所の確認）を行った。 ・道路公園課と修繕等についての協議を行った。 	健全な施設管理運営ができ、期待どおり。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

(1) 総括

平成28年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全37事業中35事業あり、全体の約94.6%を占めました。また、「期待を上回る（S評価）」が1事業、「期待をやや下回る（C評価）」が1事業ありました。

全体としては、概ね良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

<集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	3	0	1	0	4
学校教育課	0	2	4	0	0	6
生涯学習課	0	5	0	0	0	5
公民館	0	4	1	0	0	5
スポーツ課	0	7	1	0	0	8
図書館	1	4	0	0	0	5
郷土館	0	3	1	0	0	4
事業数合計	1	28	7	1	0	37
評価の割合 （%）	2.7	75.7	18.9	2.7	0.0	100.0

（参考）平成27年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	3	23	9	0	0	35
評価の割合 （%）	8.6	65.7	25.7	0.0	0.0	100.0

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を(顕著に)下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、30ページ以降に掲載しています。

5 教育委員会の活動状況と評価

平成28年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	16回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(4回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	延べ5人	
	議事録の公開、広報・広聴活動の状況	—	議事録(概要)、会議日程をホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	6回	「入間地区教育委員会連合会視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	12か所	小学校4校、中学校1校、公民館5館、市民体育館、市立図書館

	項 目	議案数	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	0議案	
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	21議案	「飯能市教育委員会事務局の内部組織に関する規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	4議案	「平成28年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関すること	12議案	「平成29年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	7議案	「奨学生の決定について」ほか
	合 計	46議案	

【評価】

開かれた教育行政を推進するため、市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供について、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、平成28年度から平成32年度までの計画である「第2期飯能市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局と連携を一層強化して計画の実現に取り組みました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、計画の初年度となる平成28年度の達成状況は次のとおりです。

なお、参考に平成27年度の数値も掲載しておりますが、学校教育課の「将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合」の平成27年度の結果については、統計をとっておらず数値を掲載できませんでしたのでご了承ください。

【学校教育課】

項 目		平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	（小学校）	— %	85.5 %	90.0 %	95.0 %
	（中学校）	— %	71.8 %	89.8 %	80.0 %
学校で取り上げた人権課題の数	（小学校）	75 件	78 件	65.0 %	120 件
	（中学校）	36 件	37 件	52.1 %	71 件
体カテスト5段階絶対評価で上位Aランク（A・B・C）の児童生徒の割合	（小学校）	80.4 %	81.3 %	101.6 %	80.0 %
	（中学校）	82.1 %	85.0 %	100.0 %	85.0 %
小・中学校応援団のボランティア総人数		1,260 人	1,257 人	62.9 %	2,000 人

【教育センター】

項 目		平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
タブレットPCの配置校	（小学校）	2 校	5 校	35.7 %	14 校
	（中学校）	0 校	3 校	37.5 %	8 校

【学校教育課・生涯学習課・公民館】

項 目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
家庭教育学級への総参加者数	1,611 人	934 人	109.9 %	850 人

【生涯学習課】

項目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
青少年育成活動の参加者数	222 人	203 人	81.2 %	250 人
青少年ボランティア延べ人数	57 人	72 人	144.0 %	50 人
公開講座参加者数	3,062 人	2,768 人	76.9 %	3,600 人
出前講座開催件数	138 件	84 件	120.0 %	70 件

【公民館】

項目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
公民館主催事業数	334 事業	346 事業	111.6 %	310 事業
主催事業参加者数	21,563 人	22,333 人	114.5 %	19,500 人

【スポーツ課】

項目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
市民健康ウォーキング事業参加者数	1,275 人	1,442 人	72.1 %	2,000 人
スゴ足イベントの参加者数	4,633 人	6,028 人	172.2 %	3,500 人
飯能新緑ツーデーマーチ参加者数	21,685 人	21,241 人	85.0 %	25,000 人
スポーツ施設利用者数	292,246 人	281,605 人	95.5 %	295,000 人
学校体育施設開放事業における利用人数	149,265 人	124,920 人	90.5 %	138,000 人

【図書館】

項目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
図書館年間利用者数	109,505 人	112,097 人	100.1 %	112,000 人
年間貸出点数	5.46 冊	5.54 冊	95.5 %	5.8 冊
図書館来館者数	233,880 人	234,373 人	101.5 %	231,000 人

【郷土館】

項目	平成27年度	平成28年度	達成度	目標値（平成32年度）
ホームページ「地域の歴史情報」の項目数	6 件	6 件	54.5 %	11 件
郷土館資料整理済件数	66,650 点	67,287 点	118.0 %	57,000 点
年間入館者数	31,517 人	30,666 人	102.2 %	30,000 人

6 評価会での学識経験者の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、駿河台大学の教授2名から次のようなご意見をいただきました。

【各事業の目標設定と評価結果について】

- ・奨学金返還金について、休日窓口の開設等の地道な努力は評価できるが、コスト面を考え、返還率を上げるための効率的なやり方を研究してみてもどうか。
- ・事業を実施することを目標とするのではなく、実施した効果（メリット・デメリット）を検証し評価すべきである。そして、次にどのように生かすかを検討することが重要である。
- ・いじめ問題に関する目標設定は、評価が難しいところ。何をもって「いじめ解消」とするのか、評価シート上では基準が明確ではない。
- ・生涯学習フェスティバルでは、参加者のリピーターから主催する側へ、さらにはアドバイザーになっていただけるような仕掛けを考えていったらどうか。
- ・公民館の目標設定の中で、情報発信と地域の活性化を関連付けているが、それをどのように繋げているのか、何（誰）をターゲットにしているのか明確に表現した方が良い。

【総括】

- ・各所管の評価結果については、概ね妥当である。
- ・平成27年度事業の評価と比較して、全体的に評価の仕方が分かりやすくなっている。
- ・一方的な視点による評価ではなく、他方からの視点も加え、バランスを考えた目標設定にしたらどうか。例えば、数値目標だけではなく、質を上げることも視点に加えてみる。
- ・一つの事業を実施するにあたり、別の事業等に影響する（飯能に来ていただける、イベントに参加いただける）ような仕掛け、仕組みを取り入れること。
- ・事業を実施する中で、年齢による中間層の取り込みを目標の一つとすることも検討してみてもどうか。10年、20年先を見据えると、地域の活動を支えている高齢者の後継者を育てる仕掛けも重要になってくると考える。
- ・職員が努力した部分を明記し、総合的な視点で評価すること。
- ・事業開催時の参加者へのアンケートについては、十分参考にすること。
- ・S評価が一つでも増えるように努力すること。

7 おわりに

今年度で10年目となる教育委員会の点検・評価ですが、毎年、中・長期的な視点に立って、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるように各所管が目標を掲げ、事業展開を行っています。重点施策としては評価シートに表記されていない事業も計画に基づき、各所管で確実に進めているところです。

今回の2人の学識経験者からは、評価結果については概ね妥当であるが、一方的な視点による評価ではなく、他方からの視点を加えたバランスの良い評価を行うこと、職員の努力を示し総合的な視点で評価すること、実施した効果を検証し評価することなどのご指摘を受けました。

今後も教育委員会では、学識経験者のご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、計画に基づきより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

資料

平成28年度 教育行政の重点施策の評価結果

1. 教育総務課

№	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (何を「どのよう」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課 基本方針 I「生きる力を育成する学校教育に取り組みます」 2誰かなしと誰やかな体の育成	7施設の給食調理等業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成29年度から南高麗及び名保給食共同調理場を民間委託化するための準備を進める。	・調理現場を訪問し、作業状況を確認する。 ・南高麗及び名保給食共同調理場については、説明会を教職員及び保護者に対して実施する。 ・優先交渉権者選定により年内に委託業者を選定し、一般職非常勤調理員の人事管理等についてスムーズに移行できるよう手配する。	・現場確認記録表を作成し、必要に応じて委託業者に対し指導を行う。 ・新規2施設の民間委託にあたっては、調理員の地元雇用優先を進めるよう選定業者と調整を図る。	<達成率100%>	<A評価>
	事業名 学校給食運営事業					
2	教育総務課 基本方針 II「安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます」 1学習環境の整備・充実	短能第一小学校の屋内運動場及び東側遊り廊下棟の耐震補強工事を実施する。	・各工事により、学校運営に与える影響を最小限に抑える。 ・学校との調整を密に行い、安全に配慮し、予定した工期を厳守する。	短能第一小学校屋内運動場 →10月末完成 短能第一小学校遊り廊下 →9月末完成	<達成率100%>	<A評価>
	事業名 小学校耐震補強改修事業 小学校施設管理事業					
3	教育総務課 基本方針 II「安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます」 1学習環境の整備・充実	学校施設の計画的な改修工事や修繕等を実施し、安心安全な学校運営を行える環境づくりに取り組む。 ・小中学校非構造部材対策工事 ・危険遊具等撤去新設工事	・工事等で学校運営に与える影響を最小限に抑える。 ・学校との調整を密に行い、安全に配慮した工事を行う。	夏季・冬季休業期間中を中心に工事実施	<達成率100%>	<A評価>
	事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業					
4	教育総務課 基本方針 II「安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます」 1学習環境の整備・充実	奨学金返還金の返還率を上昇させる。 返還が困難な奨学生に対し、計画的な返還が可能となるよう、柔軟な対応を行う。	返還が滞る奨学生及び連帯保証人に対し、電話や文書による助言を継続的に実施する。 平日に働く奨学生が、返還に係る相談を気軽にできるよう、休日返還窓口を開設する。	奨学金返還金の返還率を前年度対比で1%上昇させる。	<達成率80%>	<C評価>
	事業名 奨学金貸付事業					

2. 学校教育課

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どのように」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課	学力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	○学力学習状況調査を実施し学習状況を明らかにする。 ○課題を明確にした取組を実施する。 ○学力向上指標K4-KIDJに基づき学校指導訪問を11校で実施する。 ○学校訪問を通し「わたり」の授業指導を実施。教育センター研修に「複式教育」を位置づけ、実施する。	○市の課題を市内全校に周知する。 ○各学校での取組により課題改善への変化が見られるようになる。 ○市内11校全職員へK4の視点による授業研究を実施する。 ○1年間の課題と成果を明らかにした学力向上プロジェクト報告を作成する。 ○複式学校による「わたり」の授業が充実する。	<達成率90%> ○学校指導訪問を11校(小学校7校、中学校4校)で実施した。授業では、全校でK4の視点を意識した授業が行なわれ、それに対し指導を行った。 ○学習状況の課題については、【県学力学習状況調査】小4:国語、小5:国語・算数、中2:国語・英語 【全国学力学習調査】小6:国語・算数、中3:国語・数学が課題である。 ○教育センター主催「複式教育研究会」では「わたり」の授業をテーマに授業実践・研究協議を行ない、実践力の向上に繋がった。	<B評価> 授業改善の取組ができ、概ね期待どおり。 <今後の課題等> ○各校による学力学習状況調査の結果分析を佐城市教育課程検討委員会や各校での校内研修で協議し、授業力の向上や指導法の改善につなげる必要がある。 ○KID(家庭学習・挨拶・読書)の家庭教育に関係する指導をどのように進めていくかについて保護者・地域連携の中で検討する必要がある。
	事業名	学力向上プロジェクト				
2	学校教育課	小学校外国語活動・英語の授業の充実を目指し、外国語活動支援員を配置する。	○外国語活動支援員の活動内容を明確にし、外国語活動支援員6名を配置する。 ○外国語活動支援員の活動内容を各学校へ周知し、共通理解を図る。	○外国語活動支援員の実施要領と配置計画を策定し、外国語活動支援員6名を配置する。 ○外国語活動支援員の活動による成果と課題が明らかになり、研修会を2回開催する。	<達成率100%> ○学級担任とAETの間に入って授業を進める外国語活動支援員の役割について、三者が理解し効果的に進められるようになった。 ○担当指導主事による授業見学・指導は3回ずつ実施することができた。	<A評価> 支援員を6名配置し、成果も見られ期待どおり。 <今後の課題等> ○外国語活動支援員の活動内容について、更なる支援の向上のため、他の支援員と情報交換等を行う研修会が必要である。
	事業名	外国語活動支援員配置				
3	学校教育課	不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。	○スクールソーシャルワーカー、指導員を学校に派遣し連携を強化する。 ○スーパーバイザーによる、合理的配慮を意図した研修を市内教職員及びセンター職員に実施し資質を向上させる。 ○小中連携事業を進め、中1ギャップを解消する。	○不登校児童生徒の在籍率の減少(前年比)	<達成率90%> ○不登校児童生徒在籍率(2学期末現在) 小学校:14名・0.39%(0.05%減) 中学校:46名・2.46%(0.44%減) 【昨年】 小13名(0.36%) 中41名(2.22%) ○スーパーバイザーによる研修会を5回実施し、児童・生徒理解の方法や教育相談の役割や方法について研修を行い、学校における児童・生徒、保護者対応について研修を行った。	<B評価> 各小中学校と関係機関の連携が図られ概ね期待どおり。 <今後の課題等> ○関連機関と連携した不登校対策を継続していく必要がある。
	事業名	不登校の減少に向けた取組の推進				
4	学校教育課	いじめのない学校の実現を目指して、いじめ防止基本方針に基づいた取組を進める。	○飯籠市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、各団体の連携を図る。 ○飯籠市いじめ問題専門委員会を開催し、いじめ防止等のための対策を推進する。 ○学校いじめ防止基本方針に基づき取組を全校で実施する。 ○各中学校区で「いじめゼロ子ども会館」等を開催する。	○いじめ解消率100%	<達成率90%> ○いじめの認知件数(2学期末現在) 小学校20件・中学校11件 解消率:小学校90%(19件)、中学校100%(11件)	<B評価> 年度内で小学校1件が解消できなかったが概ね期待どおり。 <今後の課題等> ○いじめ防止基本方針に基づいて継続的にいじめ防止に取り組む。また、道徳・人権教育の場においても教育課程に位置付け付加的に実施する必要がある。
	事業名	いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進				

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (何を「どのよう」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
5	学校教育課	体力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストを実施し各校の成果と課題を分析する。 ○体力向上推進委員会を開催し市の成果と課題を分析する。 ○課題への対応策を立て、各校で年間の取組をする。 ○課題への対応策を立て、市で年間の取組をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの上位3ランク(A・B・C)の児童生徒の割合が平成27年度の数値より向上する。 ○各校の課題への取組により体力向上の変化が見られようになる。 	<p><達成率90%></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストABC(5段階評価上位3ランク)の合計の割合 小学校81.3%(0.9%増) 中学校85.0%(2.9%増) ○市の課題としては、「上体起こし」「縄力」に課題がある。 	<p><B評価></p> <p>小学校、中学校ともに県の目標値を超えているが、課題となる種目もあり坂ね期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>○市全体の課題である「上体起こし」「縄力」に関し、具体的な取り組みを示し、計画的に取り組む必要がある。</p>
	基本方針	1 「生きる力を育成する学校教育に取り組みます」 2 豊かな心と健やかな体の育成				
	事業名	体力向上の推進				
6	学校教育課	9年間を一貫した児童生徒の育成を目指して、坂能市における小中一貫教育の取組を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○坂能市における小中一貫教育の基本方針を設定する。 ○業務指令による小中連携を教育課程に位置付けて小規模中学校区で実施する。 ○担当指導主事による連携指導を全校で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○坂能市における小中一貫教育の基本方針が明らかになり、取組が実施される。 	<p><達成率100%></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全校で教育課程に位置付けた連携が実施された。 	<p><A評価></p> <p>各校が実態や地域性に合わせ、小中連携を推進しているので期待どおり。</p> <p><今後の課題等></p> <p>○一貫性のある小中学校共通の教育目標の下、教育課程に位置付けていく必要がある。</p>
	基本方針	1 「生きる力を育成する学校教育に取り組みます」 3 幼稚園・学校経営の充実				
	事業名	小中一貫教育の推進				

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どのように」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課 基本方針 Ⅲ「学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます」 2 地域の教育力の育成	大学や商工会館等との連携により地域の教育力を活かし、子供の学びが育ち、郷土を愛する心を育てるため、子ども大学はんこの(第3期)を開催する。	・学生の募集では、小学校の協力のもとチラシ等を配布。募集についても小学校の協力を得て、多くの子供が参加するよう周知を行う。 ・積極的に地域の特色や地元の人材を活かし、魅力ある講座を行っている。	・定員50人を確保し、子ども大学はんこのを開催する。(7~10月) ・他市町と情報交換を実施し、情報提供や協力関係を築いていく。 ・アンケート等により受講した子ども達の満足度を70%以上とする。	＜達成率100%＞ ・第3期全日程を終了し、49人全員に修了証を交付した。 ・受講した子どもからのアンケートでは、「とても満足」との回答が71%だった。 ・保護者からのアンケートでは、「視野が広がり、いろいろな興味を持つようになった。」「小学校の勉強とは違う環境、内容、仲間でイキイキしていた。」などの意見をいただけた。 ・次年度からは県のサポートがなくなるが、経費削減が新たに実行委員に参画することになった。	＜A評価＞ 参加した子どもたち、保護者からも満足いただける内容で実施できたので期待どおり。 ＜今後の課題等＞ ・校舎外へも案内係員を配置するなど、講座会場の案内をより充実させる。 ・講義のみではなく、体験や実技等を組み入れた講座内容とする。
	事業名 子ども大学はんこの(第3期)の開催					
2	生涯学習課 基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 1 多様な生涯学習の推進	幼児から成人・高齢者までが来場し、一緒に楽しめる生涯学習フェスティバルを実施する。 出演者は日頃の成果を発表するとともに、一緒に活動する仲間づくりを行い、来場者は自分が興味をもったものへの活動のきっかけづくりの場としていく。	・魅力ある催しやワークショップの内容について検討する。 ・学生ボランティアに協力を依頼する。 ・平成28年度も地域フェスタと合同開催を目指し、駿河台大学と連絡を密にとり、協力しながら来場者が満足するフェスティバルを実施する。	・アンケート等により来場者の満足度を70%以上とする。	＜達成率100%＞ ・ポスターの早期作成、フェンスへのポスター掲示、横断幕の設置、復興元氣市会場での特演配布、自治会へのチラシ回覧など周知に努めた。 ・高校生ボランティアが各校から26人参加し、当日の運営に協力いただいた。 ・参加者アンケートでは、参加して何か得るものがあつたとの回答が88%であった。 ・活動グループの発表の場の提供とともに、来場者に創作体験させたり、一緒に鑑賞したりすることで新たな生涯学習を知る・始めるきっかけを提供できた。 ・当日来場者は約900人であった。	＜A評価＞ 多くの方に来場いただき、満足度も目標値を達成できたので期待どおり。 ＜今後の課題等＞ ・飲食・物販コーナーへも自然に人の流れができるような工夫をする必要がある。
	事業名 生涯学習フェスティバルの実施					
3	生涯学習課 基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存活用	文化財に指定されずにある地域の歴史・文化遺産の活用を図るため、その基礎となる調査を試行的に実施し、文化財保護意識の高揚及び今後の事業展開に寄与する。	・地域の未指定歴史・文化遺産における調査活用の対象となる文化財について、文化財保護審議会と協議の上で選定する。 ・選定した対象文化財について有識者の意見を基に適切な調査方法を検討し、現地調査等を実施する。	・対象となる文化財を選定したうえで調査を実施し、調査の成果に関する報告を作成する。	＜達成率100%＞ ・過去に行った断片的調査を整理し、把握済み所蔵文書資料の一覧を作成した。 ・所蔵者に対し今後の取組みについて説明すると共に、現地調査として聞き取り調査を実施した。 ・有形資料に関する現地調査については、引き続き次年度以降に実施する。	＜A評価＞ 計画どおりに基礎調査を実施し、次年度の調査へつなげる土台ができたので期待どおり。 ＜今後の課題等＞ 有形資料はかなり劣化が進んでおり、今後の管理についても協議が必要である。
	事業名 未指定の文化財に対する基礎調査の実施					
4	生涯学習課 基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存活用	年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。 ・室内調査については、報告書発行までの計画を立て可能な限り前倒しで事業を進める。 ・民間や個人等の開発についても随時必要に対応する。	・公共事業関連の発掘調査及び室内調査は、事業量が非常に多いため、関連部署と綿密な調整を行い、各課の状況変化に対応できるように四半期ごとに計画を見直しながら実施する。 ・室内調査については、年度当初の計画に沿って、計画的に推進する。 ・民間や個人等の調査については、迅速に対応する必要があるため、公共事業関連部署と調整を取りながら、相違として対応する。	・公共事業に伴う発掘調査については、関係課の計画に沿って調査を実施し、工事等への影響を最小限とする。 ・室内調査については、報告書発行に向けて年度当初の計画どおりに実施する。 ・報告書『飯能の遺跡43』については、3月までに刊行する。 ・民間や個人等の開発に伴う調査については、調査待ちの期間が長期にわたらないよう対応する。特に、メッセに伴う調査については事業者と綿密な調整を図り、遺漏の無いようにする。	＜達成率100%＞ ・公共事業関連は今年度実施予定の発掘調査箇所は全て調査を実施することができた。一部調査期間が延びてしまったが、影響は最小限に抑えることができた。更に、例年試掘調査は当該年度に実施していたが、今回は次年度に調査が予定されている箇所を前倒しして試掘調査を実施でき、次年度の調査予定及び積算が確定に入える状況を作り出すことができた。 ・室内調査は、1月から人数を増やして実施し、計画よりも多くの仕事量を達成できた。また、報告書も12月中に入校し、早々に刊行できた。 ・民間やメッセは、事業者の意向に沿ってほぼ計画通りに進めることができた。事業者との調整の中で、調査範囲を最小限にするなど、こちらの意向も汲んでもらうことができた。	＜A評価＞ 発掘調査、室内調査ともに今年度実施予定の調査はすべて実施できたので期待どおり。 ＜今後の課題等＞ ・新年度は、秋以降に精明東部の大規模開発に伴う調査が予定されているため、上半期に公共事業にかかる調査をどれだけ進められるかが重要になる。 ・専門調査員1名は引き続き募集する。
	事業名 埋蔵文化財調査の推進事業					

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どのくらい」「どこまで」や「もか」)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
5	生涯学習課	市民の文藝創作活動を促進するため、優れた作品や著書を紹介するとともに地域の文化や伝統を紹介していく。	図書館、郷土館、公民館と連携し、館の利用者に文藝館館への投稿を働きかけるとともに、各館が所有している地域情報等を文藝館館に掲載していく。	図書館、郷土館、公民館に関する情報を文藝館館に掲載していく。 市職員を含めた新規投稿者を増やす。	<p><達成率100%></p> <p>・3月初旬に文藝館館37号を刊行することができた。新規投稿者についても応募いただくことができた。</p> <p>・特集とグラビアで、フィンランドの紹介を図書館の協力により行えた。</p> <p>・図書館職員の推薦図書については紙面の関係で掲載できなかったが、今後掲載していく。</p> <p>・市内在住の童話作家の取材を通じて、市立図書館で活動する児童文学創作活動グループとの繋がりができたので、今後文藝館館への投稿を促していきたい。</p>	< A 評価 >
	基本方針	IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」	図書館、郷土館、公民館と連携し、情報交換や利用者への周知を行い、新規の投稿者を増やす。	市の掲示版や庁内放送で文藝館館を周知し、職員を含めた一般投稿者の応募を増やしていく。		<今後の課題等>
	事業名	文藝館館の刊行				ベテラン編集長の急逝のため、息きよ3人体制での編集としているが、2名は現職で仕事をしており、日程調整に苦慮している。また、編集経験がないため、事務局の負担が大きくなっている。

4. 公民館

No	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (何を「どのよう」に「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館	家庭の教育力の向上を支援するため、関係機関、地域団体等と連携し、家庭教育学級等を開催する。	学校、PTA、青少年健全育成団体等と地域と連携し、家庭教育学級や親子(子どもと保護者)を対象にした事業を開催する。	家庭教育学級又はそれに類する事業を1回以上開催する。 家庭の教育力の向上に資する講演会を、PTAや青少年健全育成団体等と連携して実施する。 夏休み、春休み等を利用して、親子で体験できる講座や工場見学会等を実施する。	<達成率100%> 各校のPTA等と共催し、家庭教育学級を開催した。後半の内容は、土曜の学校公開日に合わせて開催したムーミンとフィンランドについての講演や、心と体を促すタッピングタッチ等だった。 青少年健全育成団体等と連携した講座では、「いじめの心理とその背後にある原因、仮面習察による「管内で発生した青少年に関する事件について」の講演等を実施した。 仮面市併催週主催の仮面市児童遊具展を仮面中央公民館ロビーで開催、短冊への書は利用グループにご協力をいただき実施した。	< A 評価 > 予定していた事業を実施できたので期待どおり。 <今後の課題等> 今後もPTA役員や健全育成の会等と連携し、講座のテーマや開催時期等を検討して、より多くの方に参加していただけるよう検討していく。
	基本方針 Ⅲ「学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます」 1 家庭の教育力向上	事業名 家庭教育学級等の開催				
2	公民館	少子高齢化や人口減少に対応し、健康づくりや人口増に繋がる事業を実施する。	健康づくりの大きな柱であるウオーキング事業は、地域のイベントやおまつりと運動させるなど、各館で工夫を凝らし実施する。また、地域野菜グルメなどを活用した事業を開催し、地域の健康づくりを推進する。 若年層の地域への定着に繋がる事業を各館共催で実施する。	ウオーキング、体操など運動の習慣化に繋がる事業と地域野菜グルメを活用した事業を各1回以上開催する。 トレーニングキャンプを、地域の団体等に協力いただき、また駿河台大学とも連携を図り実施する。 担当者の公民館部会が中心となり、全館が連携して若者の出会い、仲間づくり、仮面の良さを知ってもらえるような事業を3回連続で企画・実施する。	<達成率90%> 地区体育協会やまちづくり協議会等、各地区の団体と協力したり、公民館同士で共催するなどして、ウオーキングやハイキングを実施し、年間でのべ6,500人以上が参加した。地域野菜グルメ料理教室などを実施し、健康づくりを推進した。 トレーニングキャンプは、児童の応募が少ないため、開催を見送った館があった。 全館共催の結婚推進事業「仮面(ふるさと)再発見出逢いのススメ」は、2年続けて実施したが、成果を回ることが難しく課題が多かった。	< B 評価 > トレーニングキャンプは、予定していた6館のうち6館で実施できたので概ね期待どおり。 <今後の課題等> 見分を広めるような範囲内に出るウオーキングについては、人気が高く参加者も多いが、職員の見守りにならないよう取捨選択の必要がある。「仮面(ふるさと)再発見」事業については、切り口を変え、内容を再検討することになった。
	基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信	事業名 健康づくりや人口増に繋がる事業の展開				
3	公民館	安心して暮らせる地域を目指し、防災・防災に関する事業を関係機関、関係団体等と連携して実施する。	防災・防災に関する事業を関係機関、関係団体等と連携し開催する。 各地区自主防災会の防災訓練を良い機会と捉え、自主防災会対象の事業を実施する。	防災と防災に関する事業を自治会・自主防災会を始め、関係機関、関係団体等と連携し、各1回以上開催する。 青少年健全育成団体等と連携し、防災リーダー研修を実施する。 指定避難所を会場とした防災訓練を、自主防災会、学校と連携して実施する。	<達成率100%> 各地区の自治会や自主防災会と共催し、防災に関する講座を開催して防災意識の高揚を図った。また、地域福祉団体や高齢者団体等と連携し、主に振り込め詐欺防止などの防災講座を開催した。 各地で開催する防災訓練を、自主防災会や危機管理室、消防署、消防団と連携して実施した。	< A 評価 > 予定していた事業を実施できたので期待どおり。 <今後の課題等> 現地災害対策本部である地区行政センターと自主防災組織の連携強化について検討を進める。防災訓練については、より多くの方に参加していただけるよう時期や内容をさらに検討する。
	基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信	事業名 防災・防災に関する事業の推進				
4	公民館	地域の活性化に繋げるため、公民館事業や地域活動、地域の魅力などを積極的に発信する。	地区行政センター・公民館だより、ホームページ、仮面アプリ等を活用し、地域の情報を積極的に発信する。 フェイスブックを活用した情報発信について実施を検討する。	地区行政センターだより、ホームページ、仮面アプリ等に、公民館事業や地域情報等を積極的に掲載する。また、事業風景写真等を地区行政センターや学校などに掲示し、「見える化」を推進する。 学校との連携で、お互いの活動作品を交換して展示し、学校との交流、お互いの作品のPRや見える化の推進を図る。 文化新聞など、報道機関への情報提供を積極的に行う。	<達成率100%> 地区行政センターだよりを月1回発行した。 ホームページを活用し、公民館事業の案内や実施結果を発信した。また自治会活動や各団体の活動、小中学校の行事などに積極的に外向き、写真等も掲載して地域情報の発信に努めた。インターネット環境のない方のために、玄関入口に事業の様子や地域の情報の冊子を提出した。講座の様子や地域の四季の景色などの写真をセンター内に掲出し、地域情報の「見える化」を推進した。 仮面市ホームページのリニューアルに併せ、各館でフェイスブックからの発信を開始した。 地域の行事や講座の様子について、報道機関への情報提供を行った。	< A 評価 > 予定どおり実施できたので期待どおり。 <今後の課題等> 地区行政センター(公民館)だよりや仮面アプリ、フェイスブック等を活用し、情報発信をさらに充実させる。今後も地域の身近で魅力的な情報を積極的に発信し、地域の活性化に貢献する。
	基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信	事業名 情報発信の充実				
5	公民館	学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体や学習グループ間の連携による活動を支援する。	学習活動に必要な情報を提供するとともに、複数の団体(グループ)が連携した活動を支援する。 各館で利用グループと連携を図りながら、文化祭、音楽祭を開催する。	出前講座を活用した講座を開催する。また、公民館利用団体等に、出前講座の情報を積極的に提供し、活用を推進する。特に防災・防災などの講座の活用を促す。 各地域の文化祭、音楽祭は、実行委員会形式で内容を検討するなど、公民館利用団体の連携を図る場としても活用し、地域の方が主体的に参加し、地域が活性化する事業となるよう支援する。	<達成率100%> 市の出前講座や学習活動に関する情報を館内に掲出した。また、出前講座のチラシなどの案内をロビーに設置しPRをしている。 会員数が減少している公民館利用グループの支援として、そのグループを講師とした講座を開催し、メンバーの増加につなげる等、連携強化を図った。 地区文化祭や音楽祭を、関係団体と協力・連携して実施した。	< A 評価 > 予定どおり実施できたので期待どおり。 <今後の課題等> 高齢化により利用グループが減少の傾向にあるので、公民館として連携を進めグループが維持できるよう協力を続ける。文化祭については、更に参加者や観覧者が増えるよう各館で内容の検討を進める。
	基本方針 Ⅳ「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信	事業名 学習活動支援				

5. スポーツ課

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どのように」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。	・コーディネーショントレーニングを広く市民に周知する。 ・講習会の開催を通して、コーディネーショントレーニング有資格者を増やす。 ・学校教育の中にコーディネーショントレーニングを取り入れてもらえるよう、学校への普及と活動を行う。	・コーディネーショントレーニング推進協議会の開催 ・講習会の開催 ・体験会 2回 ・学ぶ会 2回 ・プロパライエンス体験 1回 ・保育所巡回教室開催 ・学校への普及にむけて、学校教育課と協議をする。 ・広報活動による市民への周知・普及	<達成率90%> ・今年度から体験会(6月/46人、11月/20人)並びに学ぶ会(6月/21人、11月/14人)を年に2回開催。プロパライエンス体験を1回開催し27人が受講した。 ・保育所巡回教室については、9保育所で開催し、延べ504人が参加した。また、次年度からは、新たにコーディネーション道場を開催することになった。	<B評価> COTの普及については検討が必要であるが、根拠期待どおり。 <今後の課題等> ・コーディネーショントレーニングの今後の展開について、検討・見直しが必要である。 現時点では、資格の問題、またCOTが広く市民に認知されていないため、さらなる普及を行っていく。
	事業名 コーディネーショントレーニングの推進					
2	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツーデーマーチを実施する。	・参加者2万人の維持に向けて広く大会周知を進める。 ・実行委員会及び各諸団体を開催し、準備状況の確認や運営方法等の確認を行う。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・“参加者2万人”の維持 ・関係会議の開催 ・実行委員会 2回 ・統括部会 2回 ・担当者会議 週1回 ・大会運営上の事故“0”の達成	<達成率100%> ・コース担当を中心としたコース下見を実施し、第15回大会のコースを決定した。 ・3月に統括部会、実行委員会を開催し、大会計画が決定した。 ・3月14日(火)から事前申込の募集を開始した。 ・新たな参加者の確保を目指した事業(ヤマノススメ、近隣自治体ご当地グルメ等)を第14回大会同様に開催することを決定した。 ・第15回大会は、名景コースを見直し、魅力あるコース作りができた。	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・主催団体、後援団体、協力団体との連絡調整を図り、準備を進めていくことが重要である。 ・新たな参加者の確保に向け、実行委員会を挙げての募集活動を展開していく必要がある。
	事業名 第14回飯能新緑ツーデーマーチ					
3	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	安全で競技性の高い『第15回呉むさし駅伝競走大会』を実施する。	・参加チーム上限220チームの達成に向けて広く大会周知を進める。 ・実行委員会及び各担当団体の確認や準備状況の確認や運営方法等の確認を行う。 ・警察や関係機関と連携し、安全で効率的な大会運営を検討する。 ・女子の部、大学の部の設置について協議を進める。	・参加チーム220チームの達成 ・関係会議の開催 ・実行委員会 2回 ・諸団会議 週1回 ・宗業団、大学チームの増加 10チーム ・女子チームの参加 (宗業団、大学など) ・大会運営上の事故“0”の達成	<達成率100%> ・警察との協議により出場チームの上限230チームとし、出場可能枠を10チーム増やすことができた。247チームの応募があり、競技規程に基づき選考した。 ・前回大会の反省を踏まえ、各団会でスムーズな大会運営の検討を行い、実施した。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。 ・参加チーム受付方法を見直し、業務の改善が図れた。	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・参加チームの選考基準の見直し、地区団体表彰のあり方について今後検討していく必要がある。 ・15回大会の反省点を整理し、運営方法の改善を進め、安全で競技性の高い大会の開催に向けて準備を進めることが重要である。 ・次年度はコースの変更が予定されており、早期検討が必要である。
	事業名 第15回呉むさし駅伝競走大会					
4	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	安全で競技性の高い『第59回呉武蔵中学校駅伝競走大会』を実施する。	・開催会場の安全確認・安全確保 ・実行委員会を設置し、準備・運営を行う。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・関係部署との協議による開催会場の安全確認・安全確保 ・参加チーム数:前年度超 ・実行委員会の設置:6月頃 ・関係会議の開催 ・大会運営上の事故“0”の達成	<達成率100%> ・参加チーム 男子の部 76(前回63)チーム 女子の部 59(前回53)チーム ・監督会議を開催し、注意点の確認、課題に対する協議を行い、大会当日はスムーズな大会運営ができた。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。 ・参加チームの受付方法を見直し、業務改善が図れた。	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・走路が狭い部分、倒溝等の危険箇所もあるため、より安全な大会の開催に向け、関係部署と協議を進めていくことが重要である。 ・今大会の反省点を活かした大会の開催に向けた準備が大切である。
	事業名 第59回呉武蔵中学校駅伝競走大会					

No	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どのよう」「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等	
5	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	各種関係団体との支援及び連携	飯能市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーションを推進する。	・理事会や定例会などに出席し、各種関係団体と協議しながら連携強化に努める。	・NPO法人飯能市体育協会の理事会への出席 ・飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を開催 ・スポーツ少年団本部委員会の開催	<達成率100%> ・各関係団体の会議を計回通りに開催し、団体との連携強化に努めた。 ・NPO法人飯能市体育協会の理事会への出席 ・飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を12回開催 ・スポーツ少年団本部委員会を4回開催	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・スポーツ課の事業は、関係団体との協力・連携が必須不可欠であり、今後も関係団体の会議に積極的に参加するなど、連携強化を継続していく必要がある。
	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実		「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	・ホッケーのまちづくり推進に係る体制の整備を行う。 ・普及事業と競技環境の整備を行う。 ・ホッケー競技のPR活動を行う。	・体育課専門指導員の任用 ・巡回ホッケー教室の開催 ・小・中学生及び高校生に係る利用料金の免除 ・ホームページ、市民活動センター等を活用したPR活動 ・懇話会及び中学校部会の開催	<達成率100%> ・巡回ホッケー教室 小学校:14校 中学校:8校 中学生放課後:1クラブ ・学校と調整を図り、全小中学校で巡回ホッケー教室を開催することができた。全小中学校での開催は、事業の開始以来、初である。 ・市HPを活用し、ホッケーのまち飯能をPRした。	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・全小中学校での巡回ホッケー教室の開催、全中学校でのホッケー授業についても、引き続き実施する。 ・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、競技団体、学校関係者、教育委員会それぞれの役割に応じた主体的な取組を促していく必要がある。 ・平成29年に推進計画が終了となるため、計画の更新が必要である。
7	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 1 健康で元気に暮らすための事業の充実	平成28年度全国スポーツ少年団ホッケー交流大会を開催するとともに、ホッケーのまち飯能を広く周知する機会とする。	・実行委員会を設置し、準備、運営を行う。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・実行委員会の設置 ・関係会議の開催 ・大会の開催 8月5日(金)～8日(月) 阿須ホッケー場 駿河台大学ホッケー場 大会運営上の事故"0"の達成	<達成率100%> ・第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の終了に伴い、飯能市実行委員会を解散し、大会が盛大かつ無事に終了した。 ・全国から選手が約450名が参加し、大会関係者等を含め、3日間で述べ約3,800人が飯能市を訪れ、盛大に開催された。 男子:27チーム 女子:21チーム	<A評価> 計画どおりに進められたので期待どおり。 <今後の課題等> ・全国大会の開催は、競技力を高めるだけでなく、地域経済の活性化に繋がる。計画的な全国大会の誘致・開催を検討する必要がある。 ・全国大会の開催に向けては、人工芝の張り替えが必要な時期になってきている。	
	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上		都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	・円滑な管理運営を行うため、指定管理者である飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体と連絡調整を行う。 ・円滑な管理運営を行うため、道路公園課と連絡調整を行う。	・指定管理者との連絡調整会議の開催 ・道路公園課との連絡調整会議の開催	<達成率100%> ・指定管理者と必要に応じて協議・検討を行った。 ・指定管理者と施設の安全確認(危険箇所の確認)を行った。 ・道路公園課と修繕等についての協議を行った。	<A評価> 健全な施設管理運営ができ、期待どおり。 <今後の課題等> ・都市公園運動施設において、利用者ニーズを捉えた自主事業を進める。 ・都市公園を含めた業務範囲となる中で、一体的な管理運営を進めていく必要がある。 ・人工芝の張り替えについて検討していく必要がある。
8	スポーツ課 基本方針 V「スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます」 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上	都市公園運動施設の指定管理					

6. 図書館

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (「何を」「どこを」「どのように」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	図書館	知の情報拠点として各種資料の充実を図るとともに地域創生につながる資料・情報提供を行う。また、市内組織と連携し市政情報の提供を図る。	・図書館の蔵書を充実する。 ・「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Meta5(メッツァ)」開設に伴い、北欧やムーミンの世界の雰囲気を伝えるコーナーを作るなど地域創生につながる資料・情報提供を行う。 ・市内組織と連携した資料展示を開催する。	・年間入目録冊数を8,100冊とし、蔵書の充実を図る。 ・市立図書館、こども図書館に北欧やムーミンの世界の雰囲気を伝えるコーナーを作成し、情報を提供を行う。 ・郷土館、市民会館等他課と連携した資料展示を年4回開催し市政情報の提供を図る。 ・図書館利用促進につながり、市政情報提供機会が増加する。	<達成率100%> ・年間に約9300点(雑誌・視聴覚資料を含む)を受入れ、蔵書の充実を図った。 ・市立図書館にフィンランド大使館寄贈資料コーナー、こども図書館にムーミンの本コーナーを開設し、その世界に親しんでもらうとともに情報提供を行った。 ・郷土館、市民会館等他課と連携した資料展示を13回行い図書館利用の促進と市政情報提供の増加を図った。また、駿河台大学メディアセンター所蔵貴重資料を展示した。	<A評価> 蔵書の充実、情報提供、市内組織との連携が図られたので期待どおり。 <今後の課題等> ムーミン・フィンランド資料コーナーを市立図書館、こども図書館に開設できた。今後コーナーを充実させる。さらに周知を図ることが必要である。他課との連携はさらに強化し市民への市政情報提供に努めたい。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信 事業名 資料・情報提供の充実					
2	図書館	市民の課題解決を支援するためICTを活用したサービスを展開する。また、広報に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	・ICTを活用し関係機関と連携した事業を展開する。 ・広報に関する新聞記事のスクラップを行い、記事見出しをデータ入力し公開する。	・関係施設内にカーリルタッチのタブを設置する。 ・オンラインデータベース活用のための講習会を実施する。 ・広報関連新聞見出しデータを図書館Webサイトで公開する。	<達成率100%> ・健康づくり支援と共催で行っている「いのちつながる」展で紹介した本のリストが見られるカーリルタッチを保健センターと市立図書館に設置した。 また、オンラインデータベース講習会を1回実施し、ICTを活用したサービスを進めた。 ・文化新聞記事見出しデータを1651件追加入力し公開した。また、平成27年度の広報新聞記事掲載状況リストを追加公開し、地域の情報の収集と活用に努めた。	<A評価> ICTを活用し関係機関と連携した事業を実施し、広報関連新聞見出しデータを公開したので期待どおり。 <今後の課題等> カーリルタッチやデータベースを市民の課題解決のために活用できるよう講座の開催や新しい活用方法の検討が必要である。文化新聞等の記事見出しデータは、今後も継続して作成し、活用を図るため周知したい。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信 事業名 ICTを活用した調査活動の支援					
3	図書館	市民のニーズを把握し、利用者満足度の高い図書館を目指すため、利用者アンケートを実施する。また、図書館ボランティアや読書会等と連携し図書館運営を行い、市民との協働による図書館運営を図る。	・図書館ボランティアや読書会等と連携し図書館事業を推進する。 ・利用者アンケート等を実施し、利用者ニーズの把握を図る。 ・読書会等と連携し図書館運営を図る。	・図書館ボランティアや読書会等と協働で、映画会、各種講座、おはなし会などを実施する。 ・利用者アンケートを実施する。 ・市民との協働による図書館運営が進む。	<達成率100%> ・市立図書館では「読書市立図書館友の会」と協働で映画会(12回)、おはなし会(24回)、図書館のつどい、本のリサイクルフェア等を実施した。読書会推進と協働で若者を囲む会を実施した。 こども図書館ではボランティアと協働でおはなし会等の事業を234回実施するなど市民との協働による図書館事業を実施した。 ・市立図書館、こども図書館で利用アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。	<A評価> 図書館ボランティアや読書会等との連携事業を展開し、利用者アンケートを実施したので期待どおり。 <今後の課題等> 図書館の基本理念「市民に愛され、市民とともに創り続ける図書館」を実現するためには、多くのボランティアとの協働が大切であり、参加して良かったと感じてもらえる環境作りや職員とのコミュニケーションの促進が望まれる。利用アンケートを分析し、今後のサービスへ活かすことが必要である。また非来館者への調査も必要である。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信 事業名 市民との協働による図書館運営					
4	図書館	児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもってもらうため「第2次読書会推進計画」に基づき、学校等と連携して読書活動を推進する。	・児童・生徒に図書館の使い方を知らせてもらうため、図書館見学会や出前講座などを実施する。 ・調べ学習のための団体貸出を充実させる。 ・学校図書主任会や図書整理員との連携を図る。 ・読書会推進と連携して読書活動を推進する。	・図書館見学会10団体以上実施、出前講座5団体以上実施を目標とする。 ・調べ学習のための団体貸出を年間20回以上とする。 ・学校図書主任会や図書整理員との連携を図る。 ・市立図書館での読書会との交換展示を年10回以上とする。児童・生徒の読書活動の推進につながる。	<達成率105%> ・学校等の図書館見学会を10団体受入れた。学校等への出前講座を6回行った。また、ムーミンに関する子ども出前講座を4回行った。 ・調べ学習のための団体貸出を年間58回行った。 ・学校図書主任会と学校図書ボランティア研修会で講師を務めた。図書館事業の周知を図った。 ・市内高校等の連携に県立読書会を増やし、市立図書館における読書会、読書会推進と連携した事業の交換展示を年10回開催し、展示資料の貸出数は、1冊1回以上であった。児童・生徒の読書活動を推進した。	<S評価> 各達成指標において、予定以上の結果となったので期待を上回る。 <今後の課題等> 図書館見学会、出前講座の回数や団体貸出数は目標値を上回り、高校との連携も順調であった。今後は、学校図書主任会や図書整理員、学校図書ボランティアをはじめ小・中・高等学校との連携を深め、読書活動の推進に努めたい。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信 事業名 学校等との連携					
5	図書館	幼い頃から本と親しむ環境を作っていくよう「第2次読書会推進計画」に基づき、保育所・公民館等と連携して読書活動を推進する。	・乳幼児とその家族に絵本や図書館に親しんでもらえるよう、保育所等でのおはなし会やこども図書館の案内を行う。 ・乳幼児健診において絵本の紹介やこども図書館の利用案内を行う。 ・公民館と連携した事業を実施する。	・保育所等でのおはなし会を年6回以上行う。 ・保健センターの健診での絵本の紹介や利用案内を実施する。子どもと家族が読書に親しむ機会が増加する。 ・公民館と連携した事業を年3回以上実施する。乳幼児とその家族が本と親しむ環境づくりにつながる。	<達成率100%> ・おはなし会を行う保育所を1箇所増やし、2箇所の保育所で年12回実施した。 ・保健センターでの乳幼児健診、1歳5ヶ月検診で絵本の紹介やこども図書館の利用案内を年24回実施した。 ・ムーミンとフィンランドに関する図書を各公民館に巡回するなど公民館と連携した事業を年3回実施した。 ・乳幼児とその家族が本と親しむ環境づくりを推進した。	<A評価> 保育所等と連携した事業を実施し、乳幼児とその家族が本と親しむ環境づくりを推進できたので期待どおり。 <今後の課題等> 幼い頃から本と親しむ環境を作っていくよう保育所、幼稚園、子育て支援施設と連携した事業の実施が望まれる。出産前の家族へも本に親しんでもらえるような事業の実施が必要である。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3 学習活動支援と地域の魅力発信 事業名 保育所等との連携					

7. 郷土館

No.	重点施策名	目 標	目指す達成点・到達点 (何を「どのよう」に「どこまで」やるか)	達成指標と目標値 (達成状況を示す指標)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	郷土館	地域の魅力や特性を究明することを目指す。収集資料から地域の情報を引き出し、それを多くの人が利用できるようにするため、収集資料の整理を推進する。	古文書、民具、古写真の整理をすすめる。資料カード作成と台帳登録を行う。	収集資料の整理をすすめる。民具50点以上、古文書300点以上、古写真100点以上のカードを作成し台帳に登録する。	<達成率100%> 下赤工村山川一室文書、青木村新井忠治家文書など9つの史料群528点の整理を終了し、目標としていた300点を大きく上回った。古写真は3月上旬までに175点のカードを作成した。古文書と同様、民具、古写真ともに目標値を超える点数の資料を台帳に登録することができた。	< A 評価 > 資料整理の点数が目標を達成できたので期待どおり。 <今後の課題等> 資料の整理は、地域の魅力や特性を究明するためや多くの人が利用できるようにするために不可欠であり、博物館活動の根本的な業務であるため、引き続き計画的に進める必要がある。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3. 学習活動支援と地域の魅力発信					
2	郷土館	来訪者に天覧山・飯能河原周辺の自然を含めた魅力を伝えるとともに、街や山間地域の魅力を発信することを目指す。常設展示を時代に合った内容に改裝する。	・展示方針を設定後、展示構想を決定し、設計業者を選定して基本設計、実施設計を行う。 ・設計にあたっては関係する市民や団体の意向を聞くとともに、必要に応じて郷土館協議会に報告して了承を得る。	常設展示改裝のための展示設計を完了する。	<達成率90%> 2月までに設計業者と12回の打合せを行った。郷土館側の考え方を理解してもらい、要望を取り入れてもらえるよう資料作成、連絡調整に工夫、配慮した。また、専門的な展示知識も習得しながら、職員全員で協議した上で対応した。この結果、常設展示改裝の設計を終了した。設計途中の段階で、郷土館協議会に報告、確認するとともに、庁内関係各課との調整は行ったが、関係する市民や団体の意向を聞くことはできなかった。	< B 評価 > 設計の途中で郷土館協議会など関係者の意見を聞きながら常設展示の改裝の設計を終了したので概ね期待どおり。 <今後の課題等> 今回の設計をもとに次年度工事を実施することになるため、設計段階で意図したことを反映できるように、配慮することが必要である。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3. 学習活動支援と地域の魅力発信					
3	郷土館	地域情報の積極的な発信の一つとして、高麗郡建都1300年記念をテーマとした特別展を開催し、内容の充実を図り、高麗郡建都の意義を伝える。	・高麗郡建都が飯能市域に対して大きな意義があったことを伝える内容の特別展とする。 ・関連する日高市や高麗郡建都1300年記念事業委員会などと連携して事業をすすめる。	・特別展の1日平均入館者数105人以上であること。 ・入館者のアンケートによる満足度75%以上であること。	<達成率100%> 特別展の1日平均入館者数1333人、満足度82%と、目標を上回った。 3回の関連講座とも参加者は40人以上で盛況だった。 高麗郡の建都が飯能市にとって重要な歴史の一環であることを多くの人に伝えることができた。	< A 評価 > 入館者数、満足度ともに目標に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 特別展は地域の魅力を発信し、発信するために大きな役割を担っている。今後もこの節目に合致するような特別展を企画し、多くの方に見てもらえるように配慮する。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3. 学習活動支援と地域の魅力発信					
4	郷土館	天覧山・飯能河原周辺の魅力を発信するために、自然に関する写真データを収集する。	・天覧山・飯能河原周辺の自然保護や活用を行っている団体や個人に、この地域の自然に関する写真の提供を呼びかける。 ・収集する写真は、今後郷土館での展示や事業に利用できるものとする。	天覧山・飯能河原周辺の自然に関する写真データを1000点以上収集する。	<達成率100%> 引き継ぎ写真の収集をすすめる。最終的には1496点収集できた。前期での関係者や関係団体への呼びかけ、自然観察会などへの積極的な参加により、関係者との信頼関係を構築できたため、多くの写真を提供していただいたものと思われる。これらの写真は検索システムに登録してすぐに利用できるように整備した。	< A 評価 > 写真データの収集点数が目標に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 展示に使用する自然関係の写真がすべて集まっているわけではないため、引き続き収集していく必要がある。
	基本方針 IV「地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます」 3. 学習活動支援と地域の魅力発信					